

「新・京都市ごみ半減プラン」の進捗状況

平成 2 9 年 7 月

京 都 市

目次

1	報告書の概要	・・・ 1
2	計画に掲げる指標の進捗状況	・・・ 2
3	33の推進項目の進捗状況	・・・ 9

1 報告書の概要

本報告書は、「新・京都市ごみ半減プランー京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）」（平成27年3月策定）に掲げる取組目標（指標）の進捗状況と、33の推進項目の進捗状況を取りまとめたものです。

【計画期間】

西暦年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
平成年度	27	28	29	30	31	32
新・京都市ごみ半減プラン	策定					目標

2 計画に掲げる指標の進捗状況

1 「新・京都市ごみ半減プラン」に掲げる取組目標（指標）の進捗状況

(1) ごみ量に関する目標

項目	単位	実績								目標
		平成12年度 〈2000年度〉 ごみのピーク	平成25年度 〈2013年度〉 基準	平成27年度 〈2015年度〉	平成28年度 〈2016年度〉 最新の実績	平成29年度 〈2017年度〉	平成30年度 〈2018年度〉	平成31年度 〈2019年度〉	平成32年度 〈2020年度〉	平成32年度 〈2020年度〉 目標
①市受入量	万トン	82	47.2	44.0	41.7					39
対ピーク時	%		△42	△46	△49					△52
対基準年度	%			△6	△12					△17
(一人一日当たり)	グラム	1,530	880	817	775					730
対基準年度	グラム			△63	△105					△150
内 訳	家庭ごみ量	万トン	35	23.6	22.4	21.8				17
	(一人一日当たり)	グラム	640	440	417	406				320
	事業ごみ量	万トン	47	23.6	21.5	19.9				22
	(一人一日当たり)	グラム	890	440	400	369				410

(注) 四捨五入による誤差あり

- 平成28年度の市受入量は、前年度の44.0万トンから2.2万トン減（前年度の減り幅を上回る△5.1%）、平成12年度のピーク時からほぼ半減（△49%）の41.7、273トンまで減量が進み、42万トンを切りました。ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」（「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称。以下「条例」という。）を施行した平成27年度から、2年間で約1割（平成26年度比△4.4万トン）のごみ減量を達成することができました。
- なお、市受入量の目標の内訳については、プラン策定時から情勢等が変化したことにより、再検討の必要があります。

項目	単位	実績								目標
		平成 12 年度 〈2000 年度〉 ごみ量のピーク	平成 25 年度 〈2013 年度〉 基準	平成 27 年度 〈2015 年度〉	平成 28 年度 〈2016 度〉 最新の実績	平成 29 年度 〈2017 年度〉	平成 30 年度 〈2018 年度〉	平成 31 年度 〈2019 年度〉	平成 32 年度 〈2020 年度〉	平成 32 年度 〈2020 年度〉 目標
②ごみ焼却量	万トン	76	44	41.2	38.9					35
対ピーク時	%		△42	△46	△49					△54
対基準年度	%			△6	△12					△20
③市処理処分量	万トン	80	45	41.4	39.1					36
対ピーク時	%		△44	△48	△51					△55
対基準年度	%			△8	△13					△20
④市最終処分量	万トン	16.5	6.4	5.7	5.2					5.2
対ピーク時	%		△61	△65	△68					△68
対基準年度	%			△11	△19					△19

(注) 四捨五入による誤差あり

- ・ ごみ焼却量，市処理処分量，市最終処分量は，市受入量と同様に減少しています。
- ・ 市最終処分量は，焼却量の減少に加え，焼却量に対する残灰率がプラン策定時の想定より減少したため，目標値を達成しています。

(2) 2Rの促進に関する目標

項目	単位	実績								目標
		平成12年度 〈2000年度〉 ごみのピーク	平成25年度 〈2013年度〉 基準	平成27年度 〈2015年度〉	平成28年度 〈2016年度〉 最新の実績	平成29年度 〈2017年度〉	平成30年度 〈2018年度〉	平成31年度 〈2019年度〉	平成32年度 〈2020年度〉	平成32年度 〈2020年度〉 目標
⑤食品ロス排出量	万トン	9.6	6.7	6.5	6.4					5
対ピーク時	%		△30	△32	△33					△48
対基準年度	%			△3	△4					△25
⑥レジ袋排出量	トン	5,200	3,200	2,800	2,800					1,800
対ピーク時	%		△38	△46	△46					△65
対基準年度	%			△13	△13					△44
⑦乾電池排出量	トン	550	300	(300)	250					250
対ピーク時	%		△45	△45	△55					△55
対基準年度	%			±0	△17					△17

- 食品ロス排出量については、生ごみ3キリ運動や食べ残しゼロ推進店舗認定制度の普及拡大など、食品ロス削減に関する取組を推進したことより、基準年度から0.3万トンの減となりました。
- レジ袋排出量は、基準年度から400トン減のまま横ばいで推移しています。平成27年10月から食品スーパーでのレジ袋有料化の全市展開（床面積合計1000m²以上の事業者100%）を行ったことにより、食品スーパーのレジ袋の排出量は、減少してきています。
- 乾電池排出量は、ごみ組成調査及び乾電池拠点回収量から算出していますが、平成27年度におけるごみ組成調査結果が異常値を示したため、26年度調査結果を代用して算出しています。このため、29年度からは、調査頻度を上げ、精度を確保します。

(参考) 平成25年度 乾電池拠点回収量：87トン
平成26年度 乾電池拠点回収量：90トン
平成27年度 乾電池拠点回収量：96トン
平成28年度 乾電池拠点回収量：100トン

(3) 分別・リサイクルの促進に関する目標

項目	単位	実績								目標
		平成12年度 〈2000年度〉 ごみ量のピーク	平成25年度 〈2013年度〉 基準	平成27年度 〈2015年度〉	平成28年度 〈2016年度〉 最新の実績	平成29年度 〈2017年度〉	平成30年度 〈2018年度〉	平成31年度 〈2019年度〉	平成32年度 〈2020年度〉	平成32年度 〈2020年度〉 目標
⑧紙ごみ排出量	万トン	22	14	12	11					10
対ピーク時	%		△36	△45	△50					△55
対基準年度	%			△14	△21					△29
⑨プラスチック製容器包装の分別実施率	%	-	36	40	42					60
対基準年度	ポイント			+4	+6					+24

- 平成26年10月から、雑がみの分別・リサイクルを全市展開したことや、条例の施行に伴い、平成27年10月から事業所から出る「新聞、雑誌、ダンボール」のクリーンセンターでの受入れを停止したことなどにより、紙ごみの排出量は基準年度から3万トン減少しました。
- 条例の施行により、資源物の分別に関する周知啓発を徹底したことなどから、プラスチック製容器包装の分別実施率は6ポイント上昇しました。

項目	単位	実績								目標
		平成 12 年度 〈2000 年度〉 ごみのピーク	平成 25 年度 〈2013 年度〉 基準	平成 27 年度 〈2015 年度〉	平成 28 年度 〈2016 度〉 最新の実績	平成 29 年度 〈2017 年度〉	平成 30 年度 〈2018 年度〉	平成 31 年度 〈2019 年度〉	平成 32 年度 〈2020 年度〉	平成 32 年度 〈2020 年度〉 目標
⑩乾電池回収率	%	6	28	(31)	40					50
対ピーク時	ポイント			+25	+34					+44
対基準年度	ポイント			+3	+12					+22
⑪蛍光管回収率	%	-	27	48	54					50
対基準年度	ポイント			+19	+27					+23
⑫持込ごみとしてクリーンセンター に搬入される木質ごみの排出量	万トン	-	1.4	1.3	1.3					1
対基準年度	%			△7	△7					

- 乾電池及び蛍光管は、ごみ全体に占める量が比較的少なく、単年で増減にばらつきが生じやすいため、複数年間の傾向を把握する必要があります。
- 木質ごみの民間リサイクル施設への誘導に係る啓発等により、クリーンセンターに搬入される木質ごみの排出量は、基準年度から 0.1 万トン減少しました。

(参考) 平成 25 年度 乾電池拠点回収量：87 トン【再掲】、蛍光管拠点回収量：49 トン
平成 26 年度 乾電池拠点回収量：90 トン【再掲】、蛍光管拠点回収量：51 トン
平成 27 年度 乾電池拠点回収量：96 トン【再掲】、蛍光管拠点回収量：54 トン
平成 28 年度 乾電池拠点回収量：100 トン【再掲】、蛍光管拠点回収量：55 トン

(4) 低炭素社会の構築に向けた数値目標

項目	単位	実績								目標
		平成12年度 〈2000年度〉 ごみ量のピーク	平成25年度 〈2013年度〉 基準	平成27年度 〈2015年度〉	平成28年度 〈2016年度〉 最新の実績	平成29年度 〈2017年度〉	平成30年度 〈2018年度〉	平成31年度 〈2019年度〉	平成32年度 〈2020年度〉	平成32年度 〈2020年度〉 目標
⑬温室効果ガス排出量	万トン	27	12	12	算定中					8
対ピーク時	%		△56	△56	—					△70
対基準年度	%			±0	—					△33

- ・ 温室効果ガス削減量については、基準年度から横ばいとなっています。
- ・ 平成28年度の実績値については、平成29年8月頃に確定する見込みです。

(5) 参考指標

項目	単位	実績								目標
		平成12年度 〈2000年度〉 ごみ量のピーク	平成25年度 〈2013年度〉 基準	平成27年度 〈2015年度〉	平成28年度 〈2016年度〉 最新の実績	平成29年度 〈2017年度〉	平成30年度 〈2018年度〉	平成31年度 〈2019年度〉	平成32年度 〈2020年度〉	平成32年度 〈2020年度〉 目標
再生利用率	%	-	24	29	集計中					34
対基準年度	ポイント			+5	集計中					+10
資源生産性	万円/ト	-	(平成22年度) 45	-	-					更なる向上を目指す
対基準年度	万円/ト									

- 再生利用率は、平成26年10月から、雑がみの分別・リサイクルを全市展開したことや、条例の施行に伴い、平成27年10月から事業所から出る「新聞、雑誌、ダンボール」のクリーンセンターでの受入れを停止したことなどにより、基準年度から5ポイント上昇しました。
- 資源生産性については、数値算出に用いるデータの更新が5年に1度であり、データが出そろった30年度に平成27年度実績を算出する予定です。

3 3 3の推進項目の進捗状況

○ 推進項目の進捗状況の総括

推進項目を、実施状況に応じて、「実施済み又は実施中」、「実施に向けて準備中」、「企画構想段階」、「着手前」に区分しており、平成29年6月末現在の推進項目数は下表のとおり。

区 分	実施済み又は実施中	実施に向けて準備中	企画構想段階	着手前	
区分の説明	実施済み又は実施中のもの	実施に向けて準備等を進めているもの	実施内容等について検討中のもの	検討を始めているもの	合 計
推進項目数	31	1	1	0	33
割 合	94%	3%	3%	0%	100%

○ 推進項目の進捗状況一覧

※ 各推進項目の取組内容の詳細は、一覧表の次のページ以降に記載

分野			推進 項目 番号	実施状況				現在の主な取組の概要
	基本施策	推進項目		実施中	実施済み又は準備中	企画構想段階	着手前	
「2Rの促進」 ～そもそごみになるものを減らす～								
（１）条例に基づく、市民、事業者、京都市の協働による2Rの取組の推進								
① 2Rを中心とするごみ減量に関する事業者、市民等の実施義務又は努力義務			1	○				啓発活動の実施（マンガ及び動画の制作、地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」の開催など）
② 事業者による取組の実施状況等に関する報告義務			2	○				報告書提出受付（報告対象事業者数：457事業者、提出率：100％）
③ 事業者、市民等による取組の実施状況を把握するための市民モニター制度			3	○				市民モニター（H29年度12名、累計56名）で活動。平成28年度に訪問店舗等37店舗等へ訪問。
（２）ピーク時からの食品ロス半減に向けた取組の推進								
④ 生ごみ3キリ運動の更なる推進			4	○				キャンペーン等の取組を継続的に実施中
⑤ 食べ残しゼロ推進店舗認定制度の普及拡大			5	○				認定店舗数を拡大中（平成29年7月末時点：596店舗）
⑥ 食品ロス削減等の市民・事業者の行動場面別ごみ減量メニューの検討・支援・実施等			6	○				ごみ減量メニューの実践による効果検証調査を実施
（３）レジ袋有料化等、レジ袋削減の取組の強化								
⑦ レジ袋使用枚数の最も多い業態である食品スーパーにおけるレジ袋有料化の市内全店舗への拡大実施に向けた取組の推進			7	○				食品スーパーにおける有料化実施数：214店舗
⑧ コンビニエンスストア等の食品スーパー以外の業態におけるレジ袋有料化等、レジ袋削減の取組の拡大			8		○			食品スーパー以外の業態へ働きかけを実施中
（４）イベント等のエコ化の推進								
⑨ 京都市認定エコイベント等の普及拡大			9	○				平成29年6月末時点のエコイベント認定数：43件（平成28年度：149件） 平成29年6月末時点の分別ごみ箱貸出事業貸出実績：9件（平成28年度：53件）
⑩ リユース食器の普及拡大に向けた導入支援等の推進			10	○				平成29年6月末時点の認定件数：14件（平成28年度：51件）
⑪ 祇園祭をはじめとしたお祭り等におけるごみ減量の取組の推進			11	○				祇園祭前祭において、露店にリユース食器を導入し、リユース食器回収及びごみの分別回収を行う「エコステーション」を運営する「祇園祭ごみゼロ大作戦」を実施 祇園祭後祭「エコ屋台村」を実施

分野			推進 項目 番号	実施状況				現在の主な取組の概要
	基本施策			実施 済 又 は 実 施 中	実 施 準 備 中	企 画 構 想 段 階	着 手 前	
「分別・リサイクルの促進」 ～ごみは資源・エネルギー、分別・リサイクル～								
（５）条例に基づく、徹底した分別によるリサイクルの推進								
⑫	分別の義務化とその周知・啓発の徹底	12	○					啓発活動の実施（マンガ及び動画の制作、地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」の開催など） 大規模事業所及び特定食品関連事業者への立入調査等での周知・啓発
⑬	マンションにおける分別徹底に向けた更なる周知・啓発の推進	13	○					共同住宅管理者等、大学を通じた分別徹底の周知・啓発を継続的に実施
（６）市民の自主的な分別・リサイクルを促進する仕組みの拡充・強化								
⑭	資源化可能な紙ごみ等のコミュニティ回収の拡大	14	○					コミュニティ回収実施団体を拡大中 （２８年度末２，７３５団体→２９年５月末２，７６５団体） 回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施中
⑮	古着のコミュニティ回収での回収拡大	15	○					コミュニティ回収で古着回収を促進するための助成制度の見直しを実施 回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施
⑯	せん定枝の分別排出機会の拡大（臨時回収など）	16	○					平成28年10月から家庭から排出される、せん定枝の分別・リサイクルを推進するモデル事業を開始（平成29年10月から、本格実施予定）
⑰	小型家電、電池、水銀含有廃棄物（蛍光灯等）をはじめとする資源物及び有害・危険ごみの回収の促進	17	○					小型家電から回収した「金」を使用した京都マラソン金メダルの制作 資源物や有害・危険ごみの移動式拠点回収を実施
⑱	持込ごみ（せん定枝等の木質ごみ）の民間リサイクル施設への誘導策の検討・実施	18				○		クリーンセンターにおける案内実施 業界団体への働きかけを実施 搬入手数料については、ごみ減量の状況等をみながら実施内容を検討中
（７）バイオマス活用の推進								
⑲	「京都市バイオマスGO！GO！プラン」に基づく廃棄物系バイオマスのエネルギー利用等の取組の推進	19	○					「都市油田」の更なる製造コストの削減や効率的な技術開発の実施
⑳	生ごみのたい肥化による地産地消モデル地域の構築	20	○					8地域でコミュニティたい肥化事業を実施
㉑	学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなど地域単位でのたい肥化の促進	21	○					保育所における生ごみ処理機導入助成制度の助成対象を老人福祉施設（特別養護老人ホーム）にも拡大予定 生ごみ・落ち葉のたい肥化活動への助成を実施中

分野	基本施策	推進項目番号	実施状況				現在の主な取組の概要
			実施中	実施済み又は準備中	企画構想段階	着手前	
	推進項目						

2つの柱に共通する施策							
(8) ごみ減量に関する啓発・支援の充実・強化							
22	②② 地域ごみ減量推進会議やエコ学区等、地域とまち美化事務所・エコまちステーションの連携による、地域や世帯の特性に応じた戦略的でわかりやすい広報・啓発・支援	22	○				ごみ減量を促進するスマートフォンアプリの配信 地域ごみ減量推進会議の設立及び活動の支援を継続して実施（28年度末201団体）
23	②③ 中小零細事業者等へのごみ減量啓発・支援の強化	23	○				排出事業者向け啓発ニュースレター「ごみにゅにけーしょん」を作成・配布（年4回、各回31,000部発行） 雑がみ分別マニュアルを配布
24	②④ ごみ減量等に取り組む優良事業者の表彰	24	○				ごみ減量3R活動優良事業所認定制度を実施（28年度：40件認定）
(9) 大学・企業等との連携の推進							
25	②⑤ 大学・企業と連携した調査・研究と海外研修生の受入れなど技術提携の推進	25	○				京都大学による発生抑制に関する調査研究に参画中 JICA等との連携により、海外研修生を随時受入
(10) 国、事業者、各種団体等への提案・提言							
26	②⑥ 拡大生産者責任の考え方を踏まえた、ものづくり企業等への働きかけや、広域的に実施する必要がある施策や各種リサイクル制度の改善など、全国展開で取り組む必要があるごみ減量施策の推進に関する国、事業者、各種団体等への提案・提言	26	○				拡大生産者責任をより重視した廃棄物の減量及び適正処理制度の構築について国家予算要望を実施
(11) 引き続き検討が必要な施策							
27	②⑦ 家庭から出るごみの更なる減量に向けた有料指定袋のサイズの検討	27	○				ごみ減量の状況等をみながら検討中
28	②⑧ 業者収集ごみの有料指定袋制に関する検討	28	○				ごみ減量の状況等をみながら検討中
29	②⑨ 業者収集ごみ搬入手数料に関する検討	29	○				ごみ減量の状況等をみながら検討中

ごみの適正処理における環境負荷の低減と安心・安全の確保等に関する施策							
(1) ごみの適正処理における環境負荷の低減							
30	① クリーンセンターの長寿命化計画等によるコストや環境負荷の低減に配慮した施設の整備・運営	30	○				ごみ発電などエネルギー回収の最大化を図る施設運営を実施 施設保全計画に基づく効率的な維持管理を実施
31	② 東部山間埋立処分地延命策の追求	31	○				延命策に関する調査等を実施 焼却灰の資源化の試行実施
(2) 市民の安心・安全とまちの美化の推進							
32	③ 災害発生時の対応マニュアル等の点検・見直し	32	○				大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会における大規模災害対策の計画策定等の動向等を踏まえ、災害廃棄物処理対応マニュアル等に見直しを継続して実施
33	④ 地域住民や警察等の関係機関との連携による不法投棄対策とまちの美化の推進	33	○				啓発看板の設置や美化啓発パトロールの実施、監視カメラ等貸与制度の活用等による不法投棄対策を実施中 まちの美化推進住民協定を締結を促進中

■ 推進項目進捗状況（詳細）

分 野		推進項目 番号	年次計画					
基本施策			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度
推進項目								

「2 R の促進」 ～そもそごみになるものを減らす～									
(1) 条例に基づく、市民、事業者、京都市の協働による 2 R の取組の推進									
【実施済み又は実施中】	① 2 R を中心とするごみ減量に関する事業者、市民等の実施義務又は努力義務	1	進捗状況	28 年度	条例施行に向けた周知・啓発				
				● 条例施行					
				2 R 等に関する継続的な周知・啓発等の取組の推進					
				29 年度	・ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」啓発マンガ及び動画の制作 ・食品ロス削減を呼び掛ける啓発チラシの作成				
【実施済み又は実施中】	② 事業者による取組の実施状況等に関する報告義務	2	進捗状況	28 年度	○実施結果 報告対象事業者数：457 事業者、提出率：100%				
				・報告書提出依頼（4 月）					
				29 年度	報告徴取の実施				
【実施済み又は実施中】	③ 事業者、市民等による取組の実施状況を把握するための市民モニター制度	3	進捗状況	28 年度	市民モニター制度の実施				
				・モニター募集（4 月） ・モニター 16 名を選任（6 月）（合計：44 名） ・実施結果：延べ訪問人数 120 名、訪問店舗等 37 店舗等					
				・モニター募集（4 月） ・モニター 12 名を選任（6 月）（合計：54 名（※ 28 年度のモニターから 2 名退任））					
				29 年度					

分 野	年次計画							
	基本施策 推進項目	推進項目 番号	2015	2016	2017	2018	2019	2020
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

(2) ピーク時からの食品ロス半減に向けた取組の推進										
	【実施済み又は実施中】		4							
	④生ごみ3キリ運動の更なる推進			進捗状況	キャンペーン、啓発物品の配布等による周知・啓発の取組の推進					
	28年度	・NOレジ袋&食品ロスゼロキャンペーンの実施 ・3キリクッキング講座の開催								
		29年度	・食材の「食べきり」や「使いきり」を意識した買い物方法のPRとレジ袋の削減の啓発キャンペーンの他、食品ロス削減に向けたイベント・企画を実施予定							
	【実施済み又は実施中】		5							
	⑤食べ残しゼロ推進店舗認定制度の普及拡大			進捗状況	認定店舗の拡大、PRの取組の推進					
	28年度	・認定店舗数を拡大（257店舗→518店舗） ・食べ残しゼロ推進店舗のガイドブックを作成								
		29年度	・認定店舗数を拡大・PRの取組の推進（596店舗（7月末時点）） ・800店舗を目標に認定店舗の拡大を図るほか、認定制度の評価、今後の在り方を検討することを目的として、認定店舗へのアンケート調査を実施予定							
	【実施に向けて準備中】		6							
	⑥食品ロス削減等の市民・事業者の行動場面別ごみ減量メニューの検討・支援・実施等			進捗状況	ごみ減量メニューの検討～支援・実施等					
28年度	・京都市廃棄物減量等推進審議会から「市民・事業者の行動場面別ごみ減量メニューの策定に向けて（提言）」を提出いただく（平成28年4月）。 ・ごみ減量メニューの実践による効果検証調査を実施									
	29年度	・ごみ減量メニューの実践による効果検証調査を継続実施予定								

分野	基本施策 推進項目	推進項目 番号	年次計画					
			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(3) レジ袋有料化等, レジ袋削減の取組の強化									
	【実施済み又は実施中】	7	進捗状況	28年度	実施に向けた事業者等との調整				
	29年度			実施～実施状況の把握, 事業者等との意見交換					
	28年度			・食品スーパーにおいて有料化実施は 214 店舗 ・レジ袋有料化を実施していない店舗の面積が 1,000 m ² 未満の食品スーパーにも有料化に向けた働きかけを実施					
	29年度			・レジ袋有料化を実施していない店舗の面積が 1,000 m ² 未満の食品スーパーにも有料化に向けた働きかけを実施予定					
	【実施に向けて準備中】	8	進捗状況	28年度	関係事業者等との意見交換, 取組の検討				
	29年度			取組の実施, 拡大					
28年度	・食品スーパー以外の業態へ働きかけを実施 (百貨店等)								
29年度	・関係事業者との協議を実施予定								

分野	基本施策 推進項目	推進項目 番号	年次計画					
			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(4) イベント等のエコ化の推進										
	【実施済み又は実施中】		9	進捗状況	ごみ減量に取り組むエコイベント等の拡大に向けた取組の推進					
	⑨京都市認定エコイベント等の普及拡大				繰り返し使える分別ごみ箱の貸出し					
					28年度					・京都市認定エコイベント認定数：149件 ・分別ごみ箱貸出事業貸出実績：53件
					29年度					・京都市認定エコイベント認定数：43件（6月末時点） ・分別ごみ箱貸出事業貸出実績：9件（6月末時点）
	【実施済み又は実施中】		10	進捗状況	●リユース食器導入促進助成制度の見直し					
	⑩リユース食器の普及拡大に向けた導入支援等の推進				リユース食器の利用拡大に向けた取組の推進					
					28年度					・平成28年度末の認定件数：51件
					29年度					・平成29年度末の認定件数：14件（6月末時点）
	【実施済み又は実施中】		11	進捗状況	主催者等と連携した取組等の推進					
	⑪祇園祭をはじめとしたお祭り等におけるごみ減量の取組の推進				28年度					・祇園祭前祭において、露店にリユース食器を導入し、リユース食器回収及びごみの分別回収を行う「エコステーション」を運営する「祇園祭ごみゼロ大作戦」を実施 ・祇園祭後祭「エコ屋台村」を実施（3日間で約15,000枚・個のリユース食器を使用）
					29年度					・祇園祭前祭において、露店にリユース食器を導入し、リユース食器回収及びごみの分別回収を行う「エコステーション」を運営する「祇園祭ごみゼロ大作戦」を実施 ・祇園祭後祭「エコ屋台村」を実施

分野	推進項目 番号	年次計画					
		2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

「分別・リサイクルの促進」 ～ごみは資源・エネルギー、分別・リサイクル～

(5) 条例に基づく、徹底した分別によるリサイクルの推進

【実施済み又は実施中】 ----- ⑫ 分別の義務化とその周知・啓発の徹底	12	進捗状況	条例施行に向けた周知・啓発 ● 条例施行（ただし、事業系の雑がみ（雑誌を除く。）・紙パックの分別の義務化は平成 28 年 4 月に施行） 家庭ごみ・事業ごみの分別を徹底する周知・啓発等の取組の推進					
			28 年度	・ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」啓発マンガ及び動画の制作 ・大規模事業所及び特定食品関連事業者への立入調査等での周知・啓発 ・全事業者へ分別支援ツール（「雑がみ分別の手引き」「雑がみ図鑑」「分別表示」等）を送付（1 1～1 2月に送付）				
			29 年度	・地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」の開催 ・大規模事業所及び特定食品関連事業者への立入調査等での周知・啓発 ・中小事業所へ分別支援ツールを配布予定				
【実施済み又は実施中】 ----- ⑬ マンションにおける分別徹底に向けた更なる周知・啓発の推進	13	進捗状況	周知・啓発の取組の推進					
			28 年度	・共同住宅管理者等、業界団体及び大学を対象に説明会等を開催 ・共同住宅管理者等、大学を通じた分別義務化の周知・啓発を実施				
			29 年度	・共同住宅管理者等、大学を通じた分別徹底の周知・啓発を継続的に実施				

分野	基本施策 推進項目	推進項目 番号	年次計画					
			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(6) 市民の自主的な分別・リサイクルを促進する仕組みの拡充・強化									
【実施済み又は実施中】		14							
			実施団体数、参加世帯数の拡大による資源物回収の推進						
⑭資源化可能な紙ごみ等のコミュニティ回収の拡大	進捗状況		28年度	・コミュニティ回収等の地域での集団回収の拡大（2,684団体（27年度末）→2,735団体（28年度末）） ・回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施					
		29年度	・コミュニティ回収等の地域での集団回収の拡大（2,756団体（5月末時点）） ・回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施						
【実施済み又は実施中】		15	●古着回収の促進に向けた助成制度の見直し						
			古着回収実施団体数、参加世帯数の拡大による古着回収の推進						
⑮古着のコミュニティ回収での回収拡大	進捗状況		28年度	・回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施					
			29年度	・回収参加を促進する周知・啓発の取組を継続的に実施					
【実施に向けて準備中】		16	移動式拠点回収における回収の実施						
			新たなせん定枝分別機会の創出に向けた検討～実施						
⑯せん定枝の分別排出機会の拡大（臨時回収など）	進捗状況		28年度	・移動式拠点回収における回収の実施 ・平成28年10月から、家庭から排出されるせん定枝の分別・リサイクルを推進するモデル事業を開始					
			29年度	・せん定枝の分別・リサイクルを推進する事業を本格実施予定（平成29年10月）					

分 野		推進項目 番号	年次計画								
基本施策			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度			
推進項目											
		【実施済み又は実施中】	17	進捗状況	●小型家電回収の拡大（サイズの拡大、拠点の拡大）						
		回収促進に向けた周知・啓発、更なる回収拡大策の検討									
		●電池回収の拠点拡大									
		回収促進に向けた周知・啓発									
		水銀含有廃棄物の回収促進に向けた周知・啓発									
		28 年度			・資源物や有害・危険ごみの移動式拠点回収を実施						
			29 年度	・小型家電から回収した「金」を使用した京都マラソン金メダルの制作 ・資源物や有害・危険ごみの移動式拠点回収を実施							
		【企画構想段階】		18	進捗状況	ごみ減量の状況、他都市の動向等を見極めながら、搬入手数料の在り方等も含めた誘導策を検討					
		⑱持込ごみ（せん定枝等の木質ごみ）の民間リサイクル施設への誘導策の検討・実施	28 年度			・クリーンセンターにおける案内実施 ・業界団体への働きかけを実施					
				29 年度	・クリーンセンターにおける案内実施 ・業界団体への働きかけを実施 ・搬入手数料については、ごみ減量の状況等をみながら実施内容を検討中						

分野	基本施策 推進項目	推進項目 番号	年次計画					
			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(7) バイオマスの活用の推進								
【実施済み又は実施中】	⑭「京都市バイオマスGO!GO!プラン」に基づく廃棄物系バイオマスのエネルギー利用等の取組の推進	19	進捗状況	「都市油田」発掘プロジェクトの推進（エタノール製造プラント建設に向けた研究等）				
				「バイオ軽油」実用化プロジェクトの推進（燃料製造プラント建設に向けた研究等）				
				・「都市油田」発掘プロジェクトについては、対象を事業ごみから家庭ごみに変更して実証実験を実施し、ごみ種によるエタノール製造量等の違いを把握 ・「バイオ軽油」実用化プロジェクトについては、コストや品質等の課題の整理を進めた結果、製造コスト低減の目的が立たないことから、今後の技術革新の動向を見極めていく。 ・「都市油田」発掘プロジェクトについては、引き続き、更なる製造コストの削減や効率的な技術開発に取り組む。 ・「バイオ軽油」実用化プロジェクトについては、引き続き、技術革新の動向を見極めていく。				
【実施済み又は実施中】	⑯生ごみの堆肥化による地産地消モデル地域の構築	20	進捗状況	学校における堆肥化と地域との連携、集合住宅での取組など、地域における堆肥化の取組の充実				
				・8地域でコミュニティ堆肥化事業を実施				
				・8地域でコミュニティ堆肥化事業を実施				
【実施済み又は実施中】	⑰学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなど地域単位での堆肥化の促進	21	進捗状況	助成制度の活用等による落ち葉等の堆肥化の促進				
				市立小学校等での堆肥化等の給食ごみの利用促進				
				・小学校5校で給食残さのモデル堆肥化事業を実施（5校を除く残りの全市立小学校の給食残さの民間資源化施設での飼料化も実施中） ・保育所における生ごみ処理機導入助成制度を実施 ・生ごみ・落ち葉の堆肥化活動への助成を実施 ・保育所における生ごみ処理機導入助成制度の助成対象を老人福祉施設（特別養護老人ホーム）にも拡大予定 ・生ごみ・落ち葉の堆肥化活動への助成を実施中				

分野	推進項目 番号	年次計画					
		2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

2つの柱に共通する施策

(8) ごみ減量に関する啓発・支援の充実・強化

【実施済み又は実施中】	22	進捗状況				
啓発・支援メニューの整理・とりまとめ～メニューを活用した啓発・支援の取組の推進						
②②地域ごみ減量推進会議やエコ学区等、地域とまち美化事務所・エコまちステーションの連携による、地域や世帯の特性に応じた戦略的でわかりやすい広報・啓発・支援		28年度	・地域ごみ減量推進会議の設立及び活動の支援を継続して実施（28年度末201団体） ・ごみ減量推進会議の取組「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」において、地域活動事業等を支援（28年度9件） ・ごみ減量を促進するスマートフォンアプリの配信（平成28年12月から）（ダウンロード数：28年度末2,190件） ・啓発冊子「しまつのこころ得」作成			
		29年度	・地域ごみ減量推進会議の設立及び活動の支援を継続して実施中 ・ごみ減量推進会議の取組「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」において、地域活動事業等を支援（29年度5件） ・ごみ減量を促進するスマートフォンアプリの配信を継続			
【実施済み又は実施中】	23	進捗状況				
業種や事業所規模等に応じたごみ減量啓発・支援の推進						
②③中小零細事業者等へのごみ減量啓発・支援の強化		28年度	・排出事業者向け啓発ニュースレター「ごみにゅにけーしょん」を作成・配布（年4回）。各回31,000部発行） ・雑誌がみ分別マニュアルを配布（11～12月に送付）			
		29年度	・排出事業者向け啓発ニュースレター「ごみにゅにけーしょん」を作成・配布（年4回（発行予定））。各回31,000部発行） ・雑誌がみ分別マニュアルを配布予定			
【実施済み又は実施中】	24	進捗状況				
ごみ減量・3R活動優良事業所認定制度の推進と、2Rに取り組む優良事業者の新たな表彰の検討～実施						
②④ごみ減量等に取り組む優良事業者の表彰		28年度	・ごみ減量・3R活動有料事業所認定制度を実施（平成28年度：40件認定）			
		29年度	・2R及び分別・リサイクル活動優良事業所認定制度を実施（平成29年度：10月1日認定予定）			

分 野		推進項目 番号	年次計画					
基本施策			2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度
推進項目								
(9) 大学・企業等との連携の推進								
【実施済み又は実施中】		25	進捗状況					
②⑤ 大学・企業と連携した調査・研究と海外研修生の受入れなど技術提携の推進				大学と連携したごみの組成調査の継続				
				大学の調査研究への参画				
				国内外の研究生の受入れ				
				28 年度 ・京都大学と連携し、家庭ごみ及び業者収集ごみの細組成調査を実施 ・京都大学による発生抑制に関する調査研究に参画 ・ラオス・ピエンチャン特別市に対する廃棄物管理に関する能力開発（JICA草の根事業） ・JICA等との連携により、海外研修生を随時受入				
		29 年度 ・京都大学と連携し、家庭ごみ及び業者収集ごみの細組成調査を実施（11月予定） ・京都大学による発生抑制に関する調査研究に参画 ・ラオス・ピエンチャン特別市に対する廃棄物管理に関する能力開発（JICA草の根事業） ・JICA等との連携により、海外研修生を随時受入						
(10) 国、事業者、各種団体等への提案・提言								
【実施済み又は実施中】		26	進捗状況					
②⑥ 拡大生産者責任の考え方を踏まえた、ものづくり企業等への働きかけや、広域的に実施する必要がある施策や各種リサイクル制度の改善など、全国展開で取り組む必要があるごみ減量施策の推進に関する国、事業者、各種団体等への提案・提言				拡大生産者責任の考え方を重視した仕組み（経費負担、自主回収等）の構築に関する提言の実施				
				全国展開で取り組む必要があるごみ減量施策の実現に向けた提案・提言の検討・実施				
				28 年度 ・拡大生産者責任をより重視した廃棄物の減量及び適正処理制度の構築について国家予算要望を実施				
				29 年度 ・拡大生産者責任をより重視した廃棄物の減量及び適正処理制度の構築について国家予算要望を実施				

分 野	推進項目 番号	年次計画					
		2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(11) 引き続き検討が必要な施策									
【実施済み又は実施中】		27	進捗状況	28年度	ごみ減量の状況、他都市の動向等を見極めながら検討				
②⑦家庭から出るごみの更なる減量に向けた有料指定袋のサイズの検討				29年度	・ごみ減量の状況等をみながら検討中				
【実施済み又は実施中】		28	進捗状況	28年度	ごみ減量の状況、他都市の動向等を見極めながら検討				
②⑧業者収集ごみの有料指定袋制に関する検討				29年度	・ごみ減量の状況等をみながら検討中				
【実施済み又は実施中】		29	進捗状況	28年度	ごみ減量の状況、他都市の動向等を見極めながら検討				
②⑨業者収集ごみ搬入手数料に関する検討				29年度	・ごみ減量の状況等をみながら検討中				

分 野	推進項目 番号	年次計画					
		2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度
		基本施策					
	推進項目	<担当課>					

ごみの適正処理における環境負荷の低減と安心・安全の確保等に関する施策							
(1) ごみの適正処理における環境負荷の低減							
【実施済み又は実施中】	30	③0 クリーンセンターの長寿命化計画等によるコストや環境負荷の低減に配慮した施設の整備・運営					
		進捗状況					
		28 年度					
		29 年度					
【実施済み又は実施中】	31	③1 東部山間埋立処分地延命策の追求					
		進捗状況					
		28 年度					
		29 年度					

分 野	基本施策	推進項目 ＜担当課＞	推進項目 番号	年次計画					
				2015 平成 27 年度	2016 平成 28 年度	2017 平成 29 年度	2018 平成 30 年度	2019 平成 31 年度	2020 平成 32 年度

(2) 市民の安心・安全とまちの美化の推進										
	【実施済み又は実施中】	32								
	③2災害発生時の対応マニュアル等の点検・見直し		対応マニュアル等、災害発生時の対応内容の随時点検・見直し							
			進捗状況	28年度	・大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会における大規模災害対策の計画策定等の動向等を踏まえ、災害廃棄物処理対応マニュアル等の見直しを継続して行った。					
				29年度	・大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会における大規模災害対策の計画策定等の動向等を踏まえ、災害廃棄物処理対応マニュアル等の見直しを継続して行う					
			【実施済み又は実施中】	33						
③3地域住民や警察等の関係機関との連携による不法投棄対策とまちの美化の推進	不法投棄対策の推進									
	まちの美化推進協定の締結促進									
	進捗状況	28年度	・啓発看板の設置や美化啓発パトロールの実施、監視カメラ等貸与制度の活用等による不法投棄対策を実施 ・まちの美化推進住民協定の締結を促進（まちの美化住民協定締結数：419団体（平成28年度末））							
		29年度	・啓発看板の設置や美化啓発パトロールの実施、監視カメラ等貸与制度の活用等による不法投棄対策を実施中 ・まちの美化推進住民協定の締結を促進中							